

奄美医療生協NEWS

お元気ですか

発行者
奄美医療生活協同組合
鹿児島県奄美市名瀬長浜町8-7
電話0997-52-0585
FAX 0997-52-8881

原発回帰はゆるさない 忘れないよフクシマ

さよなら原発！ 3.11 奄美行動が実施されました。

3月10日(金) さよなら原発奄美地区実行委員会は「さよなら原発！3・11奄美行動」として、奄美市内2箇所約60名、徳之島で15名の参加でスタンディンググアピール行動を実施しました。奄美医療生協も連帯行動として長浜地域で組合員さんも参加でアピール行動を行いました。大震災から12年が経過しました、この記事を書いている私も、当時鹿児島民医連事務局へ出向していたこともあり、震災の発生から2日後鹿児島民医連会長(外科医)



- 2面 組合員活動報告
- 3面 ぐらしに役立つ制度のはなし
- 4面 新入職員紹介
- 5面 ありがとう杉原先生 理事・監事・管理者研修会 地区別総代会の案内
- 6面 ゆいちゃんがいっしょ 私達の平和写真コンテスト(入賞作品発表) 理事会だより

と看護師3名で鹿児島島を出発し東京へ入り、全日本民医連の会長を含む8名のメンバーでワゴン車に医薬品、水、食料を積み重ねただけ載せて、震災支援に向かいました。宮城の坂総合病院を私達民医連の震災支援拠点とし、全国から集った仲間とともに、医師は遺体検案の他、私達も同行での避難所での健康観察、相談対応を行いました。その支援中に福島第1原発の原子炉建屋の爆発に遭遇しました。あれから12年、原発問題はますます深刻さを増してきています。問題はだらけの原発を抱えながら、政府は稼働期間40年からさらに20年以上も延長することや、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー不足を理由に新たに原発増設を推進する「原発回帰」路線を打ち出しています。福島の現状においても、きれいな道路や様々な施設の建設など、見た目は復興が進んでいるように見えますが、報道されるところでは、大量の除染廃棄物が粛々と中間貯蔵施設に移送されています。ある地域では、全て中間貯蔵施設の用地となっているところもあるようです。2022年3月の情報では、亡くなられた方(直接死) 15, 900人 行方不明者 2, 523

と看護師3名で鹿児島島を出発し東京へ入り、全日本民医連の会長を含む8名のメンバーでワゴン車に医薬品、水、食料を積み重ねただけ載せて、震災支援に向かいました。宮城の坂総合病院を私達民医連の震災支援拠点とし、全国から集った仲間とともに、医師は遺体検案の他、私達も同行での避難所での健康観察、相談対応を行いました。その支援中に福島第1原発の原子炉建屋の爆発に遭遇しました。あれから12年、原発問題はますます深刻さを増してきています。問題はだらけの原発を抱えながら、政府は稼働期間40年からさらに20年以上も延長することや、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー不足を理由に新たに原発増設を推進する「原発回帰」路線を打ち出しています。福島の現状においても、きれいな道路や様々な施設の建設など、見た目は復興が進んでいるように見えますが、報道されるところでは、大量の除染廃棄物が粛々と中間貯蔵施設に移送されています。ある地域では、全て中間貯蔵施設の用地となっているところもあるようです。2022年3月の情報では、亡くなられた方(直接死) 15, 900人 行方不明者 2, 523



人、2023年2月時点での避難者3万884人(復興支援リンク情報)とのことです。12年経過し少しずつ薄れていく震災の記憶。私たちは改めて被災者に寄り添った復興を推進すること、原発事故を教訓としない「原発回帰」路線をゆるしてはならない。忘れないよ福島！



今、すべての支部で「2030年ビジョン」に取り組んでいる。伊仙支部は、健康づくり・まちづくりをテーマに選んだ。運営委員ひとりひとりの思いを出し合う中で全体のものへと形づけてきた。「現状はどうなっているか」「見直したいこと発展させたいこと」「2030年はこうありたい」「住み慣れた伊仙町で元気で長生き出来る健康づくりとまちづくりをめざす」に決まった。

支部活動に参加している組合員は30名を超える程度で、班数は7班と少なく、運営委員は全員70歳を超え2030年には80代になっている。若手が参加する生協づくりをしないと明日はない。伊仙支部は100名以上の組合員が参加する支部づくりをめざす。重視すべきは、地域で生き生きと活動する担い手づくりであり、これはどの支部にもあてはまる課題と言える。この課題にどう取り組むか。全国から学ぶ場を設けることもひとつのきっかけになるかもしれない。「よーりよーり」してはならない。

伊仙支部 恵 幸夫

組合員活動紹介

金久支部「絵手紙班」・長浜支部「ぬり絵班」
北大島 生協会館1階 和みの壁

北大島区金久支部には文谷支部長を講師に絵手紙班が活動しています。基本毎月開催で、人を和ませる作品を次々と生み出しています。

作品は絵手紙というより、水彩画と水墨画を合わせたようなクオリティの高いものとなっています。長浜支部では、生協会館「ゆらおう家」をたまり場として、認知予防を目的とした班活動で「ぬりえ班」を結成し班会を開催しています。これも「ぬり絵」と言いながらも、陰影のついたデッサン力のある絵に仕上がっています。

これらの活動での作品が、本部一階の壁にかざられています。ぜひお立ち寄りの際には鑑賞してみてください。心が和みますよ。

伊仙支部 「ばあばの店」での健康チェック

2月18日(土)、運営委員の原根さんが代表を務める「ばあばの店」で伊仙支部の健康チェックと無料広場を行いました。

「ばあばの店」では採れたて野菜や草花、コロッケやカシヤ餅などの加工品が販売されています。この日は、子ども食堂(持ち帰り)も開催されており来場された方に運営委員さんが声掛けを行い9名の方が健康チェックをうけました。血圧測定・血管年齢・握力測定を行い好評でした。

参加した方からは、定期的に健康チェックが開催されたらいいねとの声も聞かれ今後とも継続していきたいと思っています。



山郷支部 グラウンドゴルフで交流会

3月1日(水)山郷支部では節子集落において「締めくくり月間グラウンドゴルフ交流会」を組合員11名、職員1名の参加で3年ぶりに開催しました。

地域担当理事により整備された公園を会場に、晴天にも恵まれ楽しく交流を深めることができました。

終了後は盛農園へ移動し「タンカン狩り」を楽しみました。樹齢50年になる木は豊作でたわわに実り、お



土産にも頂きました。園内の他の柑橘類などの果物や、春の訪れを告げる薄紫色の「タツナミソウ花」を眺めながら昼食をとりデザートには「甘く美味しいタンカン」を頂きました。ご馳走様でした。



くらしに役立つ制度のはなし ●●●●●●●●●●

■ 傷病手当について③



奄美中央病院
社会福祉士
柳 佑多郎

「傷病手当」とは、病気や怪我で会社を休んだ時に被保険者の生活を保証されるためにつくられた制度です。

今月号では、「傷病手当」についてよくある質問をまとめてみました。

※「傷病手当」の支給要件については「4月号」に記載しています。



傷病手当金の支給額はいくらになりますか？

支給期間は、支給開始日から通算で1年6ヵ月となっています。支給額は健康保険の加入期間などにより異なりますが、過去12ヵ月の標準報酬月額を日額になおした額の3分の2程度です。



傷病手当金はいつまで受けられますか？

同一の傷病について、支給を開始した日から通算して1年6ヵ月となります。



傷病手当金を受給していましたが、会社を退職することになりました。退職後の期間についても傷病手当金を申請できますか？

退職後の期間について傷病手当金を受ける場合には以下の条件があります。

- ①被保険者の資格喪失をした日の前日（退職日）までに継続して1年以上の被保険者期間（健康保険任意継続の被保険者期間を除く）があること。
- ②資格喪失時に傷病手当金を受けているか、または受ける条件を満たしていること。（なお、退職日に出勤したときは、継続給付を受ける条件を満たさないために資格喪失後（退職日の翌日）以降の傷病手当金はお支払いできません。

2023年度 8名の新入職員が入職しました

4月1日「2023年度新入職員赴任式」が開催され、看護師3名、理学療法士2名、作業療法士1名、放射線技師1名、事務1名の計8名の職員が入職しました。奄美市の合同入社式を含む6日間の研修を終え、10日から現場への配置となりました。成長と活躍を期待し、あたたかく見守って下さいますよう組合員の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

看護師（奄美市）



加島 朋佳

生まれ育った奄美大島で人々の命や健康、尊厳を守れるような看護師として貢献していきたいです。また、患者様やご家族との出会いを大切に、相手の立場に立って思いを傾聴しながら、その人らしさを尊重した看護を提供できるように一つひとつの学びを大事に、日々精進して参りたいと思います。

看護師（奄美市）



伊藤 久葉

幼い頃から母に連れられて受診していた奄美中央病院で働かせて頂けることを嬉しく思っています。社会人経験を経て看護師を目指し看護学校を卒業しました。以前とは違う職種で慣れるまでに時間がかかるとは思いますが、奄美医療生協の一員として患者様やご家族にとってより良い看護ケアが提供できる様、必要な技術や知識を身につけて地域に貢献していきたいと思ひます。

看護師（喜界町）



上村 智美

看護学校を卒業し、看護師として働くにあたり緊張や不安もありますが、先輩方のご指導をいただきながら、知識、技術を身につけていきたいと思ひます。また、患者様の思いを傾聴し信頼関係を築き患者様やその家族の思いに寄り添った看護ができる看護師になれるよう日々精進していきたいです。

理学療法士（大和村）



山下 晟弥

地元である奄美大島に理学療法士として戻ることができうれしく思ひます。今後働く中で分からない事が沢山あると思ひますが、目標である「患者様に寄り添える理学療法士」になれるように一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

理学療法士（龍郷町）



川畑 夏樹

理学療法士として、患者様やその家族の心に寄り添い、周囲のスタッフの方々に信頼されるような理学療法士になりたいです。その為、患者様や周囲のスタッフの方々に対して誠意をもって日々の業務に取り組んでいきたいです。

作業療法士（大和村）



武原 美希

地元である奄美大島で働かせていただくことを嬉しく思っています。社会人として働いていけるか不安ですが、一生懸命頑張ります。知識や技術を身につけ患者様に還元することの出来る“その人らしさ”を大切にしたい作業療法士となるよう努めていきたいと思ひます。

診療放射線技師（徳之島）



友野 晃明

1年間総務業務で大変お世話になりました。これからは診療放射線技師として、一生懸命頑張ります。明るく、元気いっぱい業務に取り組んでいきたいと思ひます。これからもよろしくお願いいたします。

事務（奄美市）



良山 大知

大学を卒業し、地元である奄美大島で働けることを嬉しく思っています。患者様の状態を他の職種にも共有できるような広い視野をもった事務を目指します。また、自身の持っている社会福祉士の資格を活かせたらよいと考えています。

ありがとう 杉原先生

2023年3月3日、闘病生活を続けていた杉原前理事長がお亡くなりになりました。奄美医療生協を支え、人生をかけて離島医療を守り牽引してきた理事長でした。

3月7日、南大島診療所を通じてビデオファイルが私のパソコンに届きました。そこには、お元気だった頃、職員と忘年会で楽しそうに踊っている先生が写っていました。涙が止まりませんでした。誰からも好かれ、誰よりも奄美を(地域を)好きだった先生、葬儀礼状の奥様ご家族の挨拶には、闘病中も奄美を心配し、元気になったらまた「奄美へ行って働きたい」と語っていたそうです。私達も先生の意志を糧に、いまこそ役職員、組合員さん一致団結して奄美医療生協を前進させていきたいと思えます。ありがとうございます、ご冥福をお祈りいたします。



すすんできた道は
ぎんいろの軌跡をのこした
はしることなく力をあわせて
らしんばんのさす未来へ
ゆっくりと
うしろをふりかえらず
じしんをもって前へ進めと教えてくれました。

ありがとう 杉原先生

「健康ってなあに」

2022年度下期理事・監事・管理者研修会が開催されました

3月18日(土) 下期 理事・監事・管理者研修会が理事19名、監事3名、管理者7名、地域支援部3名の参加で開催されました。

私たち医療生協には共有する健康観として「昨日よりも今日が、さらに明日がより一層意欲的に生きられる。そうしたこと有可能にするため、自分を変え、社会に働きかける。みんなが協力しあって楽しく明るく積極的に生きる」があります。この研修会を通して地域や事業所で健康について話し合う進行役や、2030年ビジョンの環境として法人のSDGs行動や、ビジョンの実践に踏み出すきっかけにするこ

とを獲得目標に研修が進められました。問題提起、進め方の報告を受け5グループに分かれ、久しぶりの対面による積極的なディスカッションが行われました。

最後にそれぞれが「健康ってなあに」ハガキに記載し終了しました。この取組は全国で実施されており、ハガキは日本生協連で集約し「今日的な健康観(仮)」として総会で提案されることになっています。ハガキには、肉体的精神的な健康の他に楽しく笑顔ですごせること、人とのつながりを大切に生きることなどが記載されています。私達の目指す「地域まるごと健康づくり」につながる研修会になりました。



地区別総代会のご案内

北大島区

4月27日(木) 14:00~16:00
会場：生協会館3階 会議室

南大島区

5月15日(月) 14:00~16:00
会場：せとうち物産館会議室

徳之島以南区

5月13日(土) 13:30~15:30
会場：生協会館とくのしま

ゆいちゃんがいく No.33 Toshi

平和写真コンテスト 入賞作品

ハゲー安全保障政策の大転換と!

憲法9条に基づく「専守防衛」の逸脱じゃがな!

岸田政権は昨年安保関連三文書改定を閣議決定した。改定により防衛費を5年間で1.8兆円の大増額。敵基地攻撃能力の保有新方針として決定した。

安保関連三文書改定について



専守防衛とは

- ① 外国からの武力攻撃が発生しない限り武力行使しない
- ② その場合でも他に手段がないときに限る
- ③ その武力攻撃を排除するために必要最小限の武力行使にとどめる

攻撃兵器の保有は憲法違反

2015年成立の安保法制(戦争法)で他国への武力行使、集団的自衛権の行使を容認

日本は戦争のできる国へ変貌

専守防衛は国連憲章上のルール

政府は先制攻撃をしないことを根拠に「専守防衛」の方針には変わりはないといっているが、専守防衛は国連憲章上のルールでありどの国の軍隊も守らなければならない

安保法制(戦争法)に加え今回の閣議決定が「専守防衛を逸脱するものであることは明らかです!

自衛隊は「軍隊」かい?



台湾有事を契機に米中戦争が勃発したら

日本は参戦せざるを得ない状況になった(集団的自衛権)

世界最悪の赤字状態の日本の財政は破綻の道へ

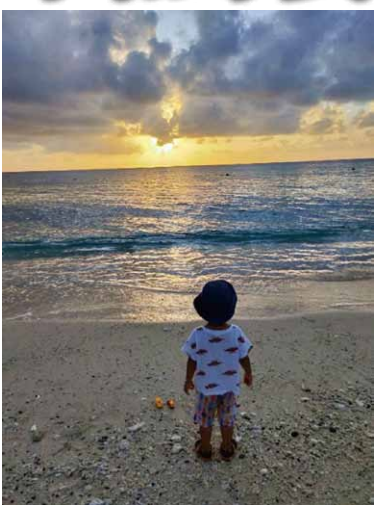
借金だらけの日本の財政はこの無謀な防衛費増により破綻へ

限りある資源は社会保障教育子育て支援へ充てるべきです

社会保障・教育子育て支援の拡充が本当の少子化対策につながるのです



参考:「敵基地攻撃能力保有の閣議決定に反対する市民集会」アピール



「SDGs」この可愛い子ども達のために、平和と公正をそして立派な社会を築いてほしい



奄美市 荻迫弘美さん



奄美市 岡 千草さん

応募方法
メール: honbu@amami-hca.sakura.ne.jp へ添付ファイルで送ってください。各区地域支援担当者へメモリーカード(SDカード等)をお預けください。

最優秀作品

「孫と夕日」
奄美市 迫田康二さん

優秀作品(順不同)



大和村 農原重光さん



大和村 勝山浩平さん

「大判小判じゃの」

「白慢の川で川遊び」

引き続き平和写真コンテスト作品募集を行っています。

理事会だより

第10回法人理事会が開催され次の事項が議決されました。

- 1、通知事項
 - ①組織・社保活動報告
- 2、報告承認事項
 - ①第45期 第9回理事会議事録の承認
 - ②第45期 第15・16回常務理事会報告
 - ③2023年度新入職員研修カリキュラム
 - ④2022年度決算スケジュール
- 3、協議議決事項
 - ①2023年度活動方針・事業計画(3次案)・予算(2次案)について
 - ②第46期通常総代会について
 - ③各種規則の改定整備、2023年度年間会議日程(最終案)について
- 4、その他の事項
 - ①2023年3月~2023年4月日程